



「世の中は 三日見ぬ間の 桜かな」江戸時代に作られた俳句ですが、特に今年の都心の桜は満開になるのが早いように感じました。開花後二週間、気温の寒暖変化が激しく風雨もあってのことでしょうか。短い期間ですが、コロナへの警告が薄らいだこともあってか、家族で、仲間、また一人で歩きながらのお花見をされ、笑顔になったとのニュースが各地で見られました。満開の波は郊外移りつつありますが、4月新しい年度が始まりました。そして、桜の俳句の比喻通り、本当に世界中が思いもよらぬ方向で、三日見ぬ間に劇的に変わっています。遠い地での紛争からも間違いなく影響を受けて、身近では材木が不足して住宅価格への影響があるとか、そば粉の不足で蕎麦が値上げになるだろうとか、世界は一つなのだと実感されます。いまこそ身の回りの全てのものを大切に、また繰り返し使うことで、子供たちにそして孫たちに今の環境を残す努力をして行きましょう。「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が4月1日に施行されました。

Market Forecasts by Y. san -4月-

3月予測の自己評価 鉄スクラップ：○ 銅：○ アルミ：○

鉄スクラップ	銅	アルミ	産業廃棄物
3月は指標になる東京製鉄宇都宮工場の特級価格57,000円/トンからスタート3月29日時点で64,500円/トン中国の鋼材消費の上向きとロシアのウクライナ侵攻により13年7ヵ月ぶり高水準。4月は停戦が進む傾向にあるため中旬から下がると思われます。	3月はLME9,970ドル/トン台、国内銅建値1,270,000円/トンでスタート中旬に多少下がりましたが29日現在LME10,000ドル/トン台をキープし、国内銅建値1,330,000円/トン。4月はロシアのウクライナの停戦が進むと思われますので下がるでしょう。	3月はLME3,440ドル/トンでスタート。3月29日時点で3,600ドル/トン。ロシアのウクライナ侵攻により価格は上がっていますが、両国の停戦協議再開され、中国のオミクロン株感染拡大警戒から4月は下がると思います。	原油高により、逆有償になっていたストレッチフィルムが有償物になっており、ペットボトルの価格も上がっています。つまり分別すればコスト削減になり、より多くのリサイクルが可能になるということです。産廃業者も廃棄物の扱ひ量が減っている為機械だけでなく土間選別の強化に動くときです。

Topics

「プラスチック資源循環法」施行

4月1日「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」(略して「プラスチック資源循環法」、以下「プラスチック新法」と表記。)が施行されました。

当羅針盤では昨年8月No.137で、既にプラスチック新法のライフサイクルにおける各段階の個別措置事項をご紹介しておりますが、4月1日の施行を機に、改めて身の回りに出来ることを環境省、経済産業省を主とした関連行政の資料を基にご紹介します。

【プラスチック新法の策定の背景】

プラスチックは、その有用性から、幅広い製品や容器包装にあまねく利用されている現代社会に不可欠な素材ですが、海洋プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応を契機として、国内におけるプラスチックの資源循環を一層促進する重要性が高まっているという状況があります。

【プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル】

プラスチックをとりまく様々な環境問題に対応していくには、プラスチックの資源循環を加速し、循環型社会へ移行していくことが必要です。プラスチック製品の設計から排出・回収・リサイクルに至るまで、プラスチックのライフサイクル全般に関わる事業者・自治体・消費者の皆様で、3R+Renewableに取り組んでいきましょう。

消費者の役割

えらんで エコなプラスチック製品をえらぼう	減らして 使い捨てプラスチックの量を減らそう	リサイクル プラスチック製品は分別してリサイクルに協力しよう

事業者・自治体の役割

設計指針（製造事業者等）
 構造（減量化・長寿命化・単一素材化etc.）、材料（代替・再生/バイオプラスチック）、製品のライフサイクル評価 他

特定プラスチック使用製品の使用の合理化（小売り・サービス事業者等）
 提供方法の工夫（有償・使用について消費者の意思確認・繰り返し使用を促す）、製品の工夫（適切な寸法・薄肉化・軽量化）他

市町村による分別収集・再商品化

市町村が分別収集したプラスチック使用製品廃棄物を①容リ法に規定の指定法人に委託再商品化、②市町村が単独再商品化

製造販売業者による自主回収・再資源化事業

自治体、消費者と協力、自主回収・再資源化

出典：環境省HP <https://plastic-circulation.env.go.jp/>

Series

「スポーツ色々やってみました」



TML 運輸部 上築 利信

こんにちは、TMLの上築利信です。

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置も3月21日で解除され、年度末も過ぎ、うらかな春の訪れとなりましたがいかがお過ごしでしょうか？

連載も第3回目になりました。今回は私がやってきたスポーツについてお話しさせて頂きます。ただ単にやってただけで、全てにおいて中途半端？だったのですが...

まずは野球。兄がやっていた影響で私も同じチームに入って、小学3年生から6年生迄やってみました。毎週日曜日の、雨の日以外には朝7時から小学校のグラウンドに集合し練習をしていました。6年生の最後の大会、勝てば都大会に出られる試合でセンターを守っていた時に、センターフライをレフトと交錯し落としてしまいました。サヨナラ負けをし、大泣きしたのを今でも覚えています。

次に水泳。学年では上位でしたが、スイミングに通う人には歯が立たず、区大会の補欠どまりでした。バレーボール。こちらは体育の先生に無理やり入部させられてやってみました。

中学に入りサッカー。新しくサッカー部ができて入部

しましたが最初は弱かったので練習試合で野球部に負けたのを覚えています。その後、かなり強くなったと聞いております。

高校に入り、バレー部に入るつもりでしたが辞め、帰宅部。

一番長く続いたのがサーフィンでした。高校1年の頃から始め40歳位までやっていました。誰でも簡単にできる電車サーファー（電車からサーフィンに通う事）からスタート。兄が使っていた板を借りて自宅から成城駅まで自転車で行き、江の島の海まで行きました。ある時、途中の相模大野駅でピンクのタンクトップを着た同じ電車サーファーの男性（A氏）を見かけたのですが、数日後に私が新宿のファーストフード店でバイトをしていると、後から入ってきたのがA氏で驚きました。そこで仲良くなり今でも付き合いが有ります。

冬場、サーフィンの寒さになるとA氏と一緒にスキー、スノーボードに良く行きました。年末の10日間、A氏の運転で2人で新潟港まで行き、新潟からフェリーを利用して北海道へ向かい、札幌国際をはじめ、数か所のゲレンデをひたすら滑り、ニセコで年越しをしたことがありました。年越しのイベントで着ぐるみを来て松明を持って滑り、外国の観光客に写真を撮られまくったのを覚えており、懐かしい思い出です。スノーボードのライセンスを取りたかったのですが、日程が合わずに受けられず、結局取得する事はできませんでしたのは残念！ などなど・・・以上、中途半端なスポーツ話でした。

